

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業  
（免疫アレルギー疾患等政策研究事業（移植医療基盤整備研究分野）））  
分担研究報告書

「いのちの教育」全国セミナー開催

研究分担者 永田 繁雄 東京学芸大学 教育学研究科 教授  
研究協力者 東京学芸大学附属国際医療センター中等教育学校  
佐藤 毅 保健体育科 教諭

研究要旨：

中学生に対する道徳授業の一環として導入されている「いのちの教育」において移植医療をテーマとし、家庭において命について話し合う機会の醸成を図る。研究協力者佐藤は同テーマを用いた授業実績を有していることから、実際の授業を録画してインターネット上に公開可能なツールを作成する。更に配布用パンフレットの改訂を行い、教育資料として活用できるよう検討する。

A. 研究目的

中学生に対する道徳授業の一環として導入されている「いのちの教育」において移植医療をテーマとし、家庭において命について話し合う機会の醸成を図る。

B. 研究方法

研究協力者佐藤は同テーマを用いた授業実績を有していることから、実際の授業を録画してインターネット上に公開可能なツールを作成する。更に配布用パンフレットの改訂を行い、教育資料として活用できるよう検討する。この点は瓜生原班の行動理論と協働することにより更なる教育効果を生むと考えられたため、厚生労働省の協力を得て引き続き研究実施する。

（倫理面への配慮）

特になし

C. 研究結果

研究協力者佐藤から過去の授業実績についての報告があった。これを元に佐藤が実施した授業の録画を行い、公開可能な動画ツールとして教材を作成した。この動画を用いて瓜生原班との連携により、より実効的な教育ツールの開発を目指す。

D. 考察

中学校における「道徳」の授業が必修化され、主要7社の教科書に「臓器移植」が含まれる。実際にどのような授業が展開され得るかという実例として、今回の録画は有用である。この授業をきっかけに家庭に持ち帰り、家族と臓器移植の対話を生むまでには障壁がある。また、学校で「授業を行う」までのステップについても、現在瓜生原班で検討がなされているところである。

今回作成した動画には、リアリティがあり、家族との対話を促す工夫も挙げられている。授業を受けた生徒は臓器提供への関心が高まるであろうことを前提として、意思表示の媒体やインターネットの活

用を検討すること等も提案されている。

瓜生原班では実際に動画を視聴した中学教諭に対する意見聴取が予定されており、当研究班による成果物の一つが有効に活用されることを期待する。将来的には、動画を視聴後、実際の授業が広く展開され、経験の共有の場（グループワーク、セミナー、website）が形成され、教諭間の自己効力感の醸成に繋がることにも期待している。

E. 結論

特になし

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表

① 永田繁雄、森有希、坂本哲彦、堺正之、柴原弘志、樋口一宗、毛内嘉威、齋藤真弓、廣瀬仁郎、島恒生、平成29年版学習指導要綱改訂のポイント 古屋真宏、他12名 明治図書4-8

② 押谷由夫、諸富祥彦、西野真由美、新井浅浩、永田繁雄 道徳教育の理念と実践. 放送大学教育振興会 225-242,243-259. 小学校新学習指導要領の展開特別の教科道徳編. 明治図書10-17(2)

2. 学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし